

日本医学会だより

JAMS News

2010年5月 No. 43
日本医学会

◆第77回日本医学会定例評議員会

高久会長から「医療荒廃の立て直しの努力をしている状況の中での種々の問題について、日本医学会として、意見表明を行ってきた。今後さらに、各学会のご協力を得て社会に意見を発信する努力を続けて行きたい」と挨拶された。

その後、平成21年度年次報告と平成22年度の事業計画の説明があった。また平成21年度の加盟は、日本呼吸器内視鏡学会が承認された。

同日に、次期役員選挙が行われ、会長に高久史麿、副会長に岸本忠三、久道 茂、門田守人の各氏が選出された。任期は、平成22年4月1日から2年間。

◆第28回日本医学会総会

第28回日本医学会総会は、平成23年4月8日～10日、矢崎義雄会頭の下、「いのちと地球の未来をひらく医学・医療—理解・信頼そして発展—」をテーマに東京で開催される。

本年3月から全国各地で開催されるプレシンポジウムを皮切りに、平成23年4月8日(金)～10日(日)に学術講演が東京国際フォーラム他周辺施設で開催。また4月2日(土)～10日(日)に、博覧会・学術展示「わかろう医学つくろう！健康 Expo2011」が東京国際展示場(東京ビッグサイト)を中心に開催される。

事前登録は平成22年3月3日から開始した。参加登録料は前回より廉価に設定したので、多くの方にご参加いただきたい。詳細は、ホームページ(<http://www.isoukai2011.jp/>)をご覧ください。

◆日本医学会社会部会 Japan CDC (仮称) 創設に関する作業部会

平成21年11月に標記作業部会を新設した。これは、Japan CDC (仮称) 創設の提言を行うことを目的としている。提言を行うために今後、先進国における類似の機構について、また日本のCDC機能のあり方についてなどを十分に検討していく予定である。部会長は、森本兼曩大阪体育大学副学長。

◆日本医学雑誌編集者会議

3月11日に開催された第4回日本医学雑誌編集者組織委員会において、平成21年11月4～5日に開催されたAPAME/WPRIM合同会議(シンガポール)の報告の他、「利益相反」をテーマに「第3回日本医学雑誌編集者会議(JAMJE)総会・第3回シンポジウム」を日本医学会臨床部会利益相反委員会との合同シンポジウムとして7月15日(木)に日本医師会館小講堂で開催することが決定した。

◆日本医学会臨床部会運営委員会

臨床部会運営委員会は、日本医学会分科会の10の基本領域学会と2つの subspecialty 学会から委員構成されている。

運営委員会の下部組織には、専門医制度に関する作業部会、診療関連に関する作業部会等があり、平成22年度には、利益相反委員会を新設(別項参照)した。

また日本内科学会が平成17年度から平成21年度の5年間、事務局の役割を果たしてきた「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の継続について、4学会(日本内科学会、

日本外科学会、日本病理学会、日本法医学会)と打ち合わせ、平成22年度からは、4学会合同の組織(日本医療安全調査機構)でモデル事業を継続する方針を検討した。日本医学会も協力体制をとる予定である。

なお臨床部会会議、運営委員会等の議事録等は、本会のホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)に掲載しているので、ご覧いただきたい。

◆日本医学会臨床部会利益相反委員会

利益相反委員会は、日本医学会臨床部会の活動として、平成22年度に新設した。各専門学会の生命科学研究推進の際、科学性、医学性、倫理性を確保しながら発展させると共に、産学連携を透明性、中立性、公明性を担保に推進していく。委員長は、曾根三郎徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部教授。

◆日本医学会医学用語管理委員会

本委員会は、平成21年12月17日付で、Web掲載の「日本医学会医学用語辞典」を日本医学会分科会会員ならびに都道府県医師会会員に限り無料で公開した。詳細については、日本医学会事務局まで問い合わせられたい。

なお、「日本医学会医学用語辞典 英和」第3版は、日本医学会分科会の用語委員会のご協力を得て刊行したので、各分科会機関誌の執筆要項としてご利用いただきたい。

◆第10回日本医学会公開フォーラム

「メタボリックシンドローム—動脈硬化—」をテーマに、平成22年7月3日(土)13:00~16:00、日本医師会大講堂において開催(組織委員長:山田信博筑波大学長)。市民対象の公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)の3方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、Web上にて映像配信する。

1. 序論/山田信博(筑波大学長)、2. 動脈硬化症の考え方とメタボリックシンドローム/横山信治(名古屋市立大学大学院医学研究科・生物化学)、3. 動脈硬化の予防とリスク管理/荒井秀典(京都大学大学院医学研究科・人間健康科学)、4. 家族性高コレステロール血症の

診断と管理/斯波真理子(国立循環器病研究センターバイオサイエンス部室長)、5. 循環器疾患におけるメタボリックシンドローム/青沼和隆(筑波大学大学院人間総合科学研究科・循環器内科)、6. 脳血管障害の危険因子としてのメタボリックシンドローム/鈴木則宏(慶應義塾大学・神経内科)。

◆第138回日本医学会シンポジウム

「骨粗鬆症の診断と治療」をテーマに、平成22年7月29日(木)13:00~17:00に、日本医師会館大講堂において開催。組織委員は、中村耕三、松本俊夫、太田博明の各氏。参加希望者は、上記フォーラムに同じ方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、Web上にて映像配信する。

序論—生活習慣と骨粗鬆症/中村耕三(東京大整形外科学)、1. 骨粗鬆症の骨折リスクと治療開始時期の判断/藤原佐枝子(放射線影響研)、2. 骨粗鬆症関連の転倒骨折、その予防と治療/原田 敦(国立長寿医療研究センター)、3. 薬物治療の選択/松本俊夫(徳島大ヘルスバイオサイエンス研究部)、4. Bisphosphonateによる骨粗鬆症治療/萩野 浩(鳥取大保健学科・リハビリテーション部)、5. エストロゲンとSERMによる骨粗鬆症治療/太田博明(国際医療福祉大/山王メディカルセンター)、6. ステロイド骨粗鬆症の診断と治療/宗圓 聡(近畿大奈良病院)。

◆医学賞・医学研究助成費

平成22年度日本医師会医学賞・医学研究助成費の推薦依頼を日本医師会雑誌の5月号に公示。要項は本会に問い合わせ下さい。推薦期間は、5月15日~7月5日。申請書は、公示日より日本医師会ホームページ<http://jams.med.or.jp/>からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成22年度の日本医学会への新規加盟申請は、5月15日に公示(日本医師会雑誌等)し、7月31日に締め切る。申請書は、公示日から本会ホームページ(<http://jams.med.or.jp/>)からダウンロードできる。